

2017年10月12日

「Custom Z」シリーズの限定モデル

■ 軽快な吹奏感とドライで存在感のある音色を実現。

## ヤマハ テナーサクソフォン *Custom Z* 『YTS-82ZASP』

-アンティーク調のアンバー塗装採用モデル 11月15日（水）発売 -



<ヤマハ テナーサクソフォン『YTS-82ZASP』>

ヤマハ株式会社は、テナーサクソフォンの新製品として、「Custom Z（カスタムゼット）」シリーズの限定モデル『YTS-82ZASP』を11月15日（水）に発売します。

### <価格と発売日>

品名	品番	価格	発売日
ヤマハ テナーサクソフォン	YTS-82ZASP	700,000円（税抜）	11月15日（水）

◎販売予定数：合計80台

### <製品の概要>

このたび発売するテナーサクソフォン『YTS-82ZASP』は、Custom Zシリーズの中で最も人気の高いモデル「YTS-82Z」をベースにして特別仕様を施した限定モデルです。日本を代表するジャズサクソフォン奏者三木俊雄氏の協力のもと、キイレイアウト、重量バランスなど細部にわたり検証をおこない、トップジャズアーティストが求める軽快な吹奏感とドライで存在感のある響きを実現しました。外装にはアンティーク調のアンバー塗装を採用し、ヴィンテージのジャズテナーサクソフォンが持つ世界観を彷彿とさせる華やかなモデルとしています。

## <主な特長>

### 1. 軽量化により、スムーズな吹奏感と遠くまで響く存在感のある音色を実現

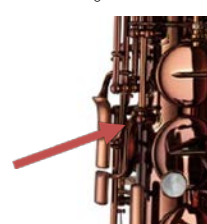
ネックには、コントロールしやすく安定した音程感と立ち上がりの早さが特長のC1 ネックを採用しました。また本モデル専用にネックの板の部分を通常よりも薄くしたほか、サムレストの素材としてエボナイトを採用し、台座の肉厚を薄くすることで、約15%の軽量化を実現しました。さらに中低音域の響きに影響のある管体の右手側で、主列キイの支柱をそれぞれ独立して管体に取り付けて単座化することで、演奏時の抵抗感を軽減しました。これらにより従来モデルよりも、軽快な吹奏感とドライで存在感のある響きを持つとともに、高い遠達性を実現しました。



<C1 ネック>



<エボナイト製サムレスト>



<主列キイ支柱の単座化>

### 2. 演奏に集中することができる高い操作性と最適な重量バランス

本体は軽量化するが、メタルサムフックや新規開発のネックスクリューなどのパーツは重量化することで、軽量化された本体との最適な重量バランスを実現しました。また、細部にわたる検証を繰り返し、キイレイアウトやストラップリング位置の変更などを行なうことで、演奏に集中できる高い操作性を実現しました。



<メタルサムフック>



<新規開発されたネックスクリュー>

### 3. 見る人を惹きつける格調高いアンバー塗装

ヴィンテージサクソフォンを彷彿とさせるアンバー塗装された外観や、LowC# キイタンポ皿への彫刻など専用パーツが、ジャズテナーサクソフォンが持つ世界観をより一層際立たせます。



<キイタンポ皿の彫刻>

## <主な仕様>

モデル	YTS-82ZASP
色/ 仕上げ	アンバーラッカー
一体座	右手主列・サイド単体座
ベル支柱	二点式
High F#キイ	○
パッド	メタルレゾネーター
針バネ	硬質ニードルスプリング
サムレスト	エボナイト製
サムフック	真鍮製
ネックスクリュー	オリジナル
ベル接ぎリング	オリジナル
彫刻	手彫り彫刻 LowC# タンポ皿の手掘り彫刻
ネック	TC1L
マウスピース	4CM
ケース	TSC-820UL02 (フライトケース)



<TSC-820UL02 (フライトケース) >

### <開発協力：三木俊雄氏プロフィール>

大阪府生まれ。1986年バークリー音楽大学にスカラーシップを得て留学。リッチー・コール・アワード受賞。サクスをビル・ピアース、ジョー・ヴィオラ、アレンジをハーブ・ポメロイ、フィル・ウィルソンに師事。1996年から自己の率いる10ピース・バンド、フロントページ・オーケストラの活動を開始。アルバム『ハーモニー・オブ・ザ・ソウル』をリリースの他、DOUBLE、押尾コータロー(g)とのコラボ・アルバムにも参加。2013年リリースの『ストップ&ゴー』は、ジャズライフ「アルバム・オブ・ザ・イヤー」にて第3位を獲得。また、小曾根真(p)率いるNo Name Horsesのメンバーとして、作品も提供している。尚美学園大学非常勤講師。





ヤマハ テナーサクソフォン 『YTS-82ZASP』

価格：700,000 円（税抜）

\*文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。

この件に関するお問い合わせ先

■ 報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 広報部 ブランド・商品広報グループ 担当：今井

〒108-8568 東京都港区高輪 2-17-11

TEL 03-5488-6605

FAX 03-5488-5063

ウェブサイト [https://www.yamaha.com/ja/news\\_release/](https://www.yamaha.com/ja/news_release/)  
(お問い合わせや画像ダウンロード等が可能です)

■ 一般の方のお問い合わせ先

株式会社ヤマハミュージックジャパン

鍵盤・管弦打営業部 管弦打マーケティング課

TEL 03-5488-6705